

Syllabus Id	syl.-112559
Subject Id	sub-112000130
更新履歴	20110326 新規
授業科目名	文学特論
担当教員名	小出貫暎
対象クラス	E4
単位数	2履修単位
必修/選択	必修
開講時期	23年 通年
授業区分	人文・語学
授業形態	講義
実施場所	当該教室

授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)

日本の古典として親しまれている中から、論語と詩歌、さらに古来名文中の名文と言われる作品の冒頭の文章を取り上げて、古人の、人としての在り方、ものの考え方・感じ方に触れ、学習者自身の教養を高め人生を豊かにする態度を涵養する。

準備学習(この授業を受講するときに前提となる知識)

3年までの既習知識。

学習・教育目標	Weight	目標	説明
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
D：日本人として、自覚的に日本文化を学び、国際的な受信・発信能力の養成する。			

学習・教育目標

1. 該当する学習・教育目標についての達成度検査を、年度末の目標達成度試験を持って行う。
2. プログラム教科目の修得と、目標達成度試験の合格を持って当該する学習・教育目標の達成とする。
3. 目標達成度試験の実施要領は別に定める。

の達成度検査

授業目標

個々の教材を理解し、詩歌の暗唱に努めて、科目概要の達成を目指す。

授業計画(プログラム授業は原則としてプログラム教員が自由に参観できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)

回	メインテーマ	サブテーマ		参観
第1回	前期オリエンテーション	論語	古今和歌集仮名序	
第2回		論語	万葉集	
第3回				
第4回				
第5回		唐詩	万葉集	
第6回				
第7回				
第8回			方丈記(冒頭)	
第9回		論語		
第10回			古今和歌集	
第11回				
第12回		唐詩		
第13回				
第14回				
第15回	前期末試験			×
第16回	後期オリエンテーション	論語	平家物語(冒頭)	
第17回				
第18回			新古今和歌集	

第19回		唐詩	
第20回			
第21回			
第22回			
第23回		論語	
第24回		奥の細道（冒頭）	
第25回			
第26回		近代短歌	
第27回		唐詩	
第28回			
第29回			
第30回	後期末試験		×

課題

個々の教材の理解と、詩歌の暗唱。

評価方法と基準

評価方法

前・後期定期試験を中心に（8.5割）、平素の学習状況・課題等から達成度をみる。

評価基準

同上

教科書等

プリント教材

先修科目

既習文学関連学習科目

関連サイトのURL

授業アンケートへの対応

適宜誠実対応

備考

1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。
2. 授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。